

平成29年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」について
(概要版)

I 暴力行為の発生件数（公立の小学校・中学校・高等学校）

【概要】 1,128 件（前年度 796 件） ※前年度比 332 件増（41.7% 増）

校種別 年度	公立小学校 発生件数 (1000人あたり)	公立中学校 発生件数 (1000人あたり)	公立高等学校 発生件数 (1000人あたり)	公立合計 発生件数 (1000人あたり)	県(国公立) 発生件数 (1000人あたり)	全国(国公立) 1000人あたりの 発生件数
H29	633 (18.3)	476 (27.1)	19 (1.2)	1,128 (16.5)	1,146 (15.6)	4.8
H28	446 (12.8)	326 (18.1)	24 (1.5)	796 (11.5)	821 (11.0)	4.4
H27	174 (5.0)	322 (17.5)	20 (1.2)	516 (7.4)	529 (7.1)	4.2
H26	76 (2.1)	276 (14.8)	32 (1.9)	384 (5.4)	395 (5.2)	4.0
H25	87 (2.4)	276 (14.8)	23 (1.4)	386 (5.4)	410 (5.3)	4.3

◎暴力行為に対する今後の対応

(1)未然防止対策の推進

- ・児童生徒の学級満足度等を把握するアンケート調査等を活用した親和的な学級づくりによる児童生徒の所属感や自己有用感を高める取組
- ・子どもの小さな変化を見逃さずに対処するという早期発見・早期対応の姿勢の確立
- ・対人関係形成能力の育成
- ・特に配慮が必要な児童生徒の理解と適切な対応の推進

(2)生徒指導における教育相談体制の活用と充実

- ・教育相談コーディネーターを中心とした体制の確立

(3)保護者、他校種、関係諸機関との一層の連携強化

II いじめの発生状況（公立の小学校・中学校・高等学校及び特別支援学校）

【概要】 認知件数 1,797 件（前年度 1,618件） ※前年度比 179件 増（11.1% 増）

【公立学校】

校種別 年度	小学校 認知件数 (1000人あたり)	中学校 認知件数 (1000人あたり)	高等学校 認知件数 (1000人あたり)	特別支援学校 認知件数 (1000人あたり)	合計 認知件数 (1000人あたり)	県(国公立) 認知件数 (1000人あたり)	全国(国公立) 1000人あたりの 認知件数
H29	1067 (30.9)	550 (31.3)	144 (9.0) ※144 (9.9)	36 (35.4)	1,797 (26.0) ※1,797 (26.5)	1,831 (24.5)	30.9
H28	1027 (29.5)	422 (23.4)	113 (7.0) ※113 (7.7)	56 (58.3)	1,618 (23.1) ※1,618 (23.6)	1,643 (21.8)	23.9
H27	532 (15.2)	299 (16.2)	93 (5.7) ※93 (6.4)	30 (31.5)	954 (13.7) ※954 (14.0)	985 (13.0)	16.4
H26	389 (10.9)	204 (11.0)	69 (4.2) ※69 (4.6)	23 (24.1)	685 (9.6) ※685 (9.8)	703 (9.1)	13.7
H25	135 (3.7)	140 (7.5)	48 (2.8) ※48 (3.2)	5 (5.3)	328 (4.5) ※328 (4.6)	344 (4.4)	13.4

※は通信制高校を含まない数値

◎いじめの問題に対する今後の対応

- (1) 学校の取組の一層の充実（学校いじめ防止基本方針に基づく取組の推進）
 - ・ いじめを見逃さない・見過ごさない学校づくり
 - ・ いじめ対策組織を中心とした対応体制整備及び強化
 - ・ 未然防止の取組の推進による魅力ある学校づくり（人権教育、道徳教育、体験活動の充実等）
 - ・ 日常の観察、面接、調査(アンケート)からの早期発見・対応
 - ・ 児童生徒の学級満足度等を把握するアンケート調査等を活用した親和的な学級づくり
 - ・ 県「いじめ防止基本方針」の改訂に伴う学校いじめ防止基本方針の点検・見直し
- (2) スクールカウンセラー等の活用による教育相談体制の充実
- (3) いじめの未然防止の取組や適切な早期対応等の理解（生徒指導に係る校内研修の充実）
- (4) いじめ防止対策推進法及び島根県いじめ防止基本方針に基づく取組の推進
 - ・ 関係機関との連携（いじめ問題対策連絡協議会）
 - ・ いじめ等対応アドバイザーの活用

Ⅲ 小学校及び中学校における長期欠席の状況（公立）

【概 要】 不登校の児童生徒数 882人（前年度 781人） ※前年度比 101人 増（12.9% 増）
 小学校 306人（前年度 220人） 中学校 576人（前年度 561人）

公立学校	小学校 不登校児童数 (1000人あたり)		中学校 不登校生徒数 (1000人あたり)		合 計 (1000人あたり)		県(国公立) 不登校児童生徒数 (1000人あたり)		全国(国公立) 不登校児童生徒数 (1000人あたり)	
	H29年度	306 (8.9)	576 (32.8)	882 (16.9)	892 (16.8)	14.7				
H28年度	220 (6.3)	561 (31.1)	781 (14.8)	790 (14.7)	13.5					
H27年度	192 (5.5)	507 (27.5)	699 (13.1)	706 (12.9)	12.6					
H26年度	183 (5.1)	533 (28.6)	716 (13.2)	722 (13.0)	12.1					
H25年度	172 (4.7)	601 (32.2)	773 (14.1)	782 (14.0)	11.7					

<参考>小中学校（公立）理由別長期欠席者数（割合%）

		長期欠席者合計		病気		経済的理由		不登校		その他	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
小学校	H 島根県	414	1.20	36	0.10	0	—	306	0.89	72	0.21
	29 全 国	72,518	1.12	21,480	0.33	9	0.0000	35,032	0.54	15,997	0.25
	H 島根県	354	1.02	39	0.11	0	—	220	0.63	95	0.27
	28 全 国	67,798	1.04	20,323	0.31	16	0.0002	31,151	0.48	16,308	0.25
中学校	H 島根県	291	0.83	35	0.10	0	—	192	0.55	64	0.18
	27 全 国	63,089	0.96	19,942	0.30	40	0.001	27,581	0.42	15,526	0.24
	H 島根県	740	4.21	54	0.31	0	—	576	3.28	110	0.63
	29 全 国	144,522	4.30	23,882	0.71	18	0.000	108,999	3.25	11,623	0.35
中学校	H 島根県	709	3.93	48	0.27	0	—	561	3.11	100	0.55
	28 全 国	139,208	4.06	22,488	0.66	21	0.001	103,247	3.01	13,452	0.39
	H 島根県	630	3.42	55	0.30	0	—	507	2.75	68	0.37
	27 全 国	131,844	3.79	21,115	0.61	69	0.002	98,428	2.83	12,232	0.35

※全国は国公立の数値

◎小学校・中学校の不登校児童生徒への今後の対応 ※はH30年度実績

- (1) 教育相談体制の充実
 - ・スクールカウンセラー活用事業の活用 ※県内すべての学校に配置
 - ・スクールソーシャルワーカー活用事業の活用 ※18市町村に委託
 - ・教育相談コーディネーター養成研修の研修内容の周知
- (2) 小学校不登校等対応体制の充実
 - ・不登校等対応体制充実事業 ※教頭・主幹教諭をリーダーとするチーム支援体制の確立
 - ・子どもと親の相談員配置 ※小学校25校に配置
- (3) 非常勤講師による中学校支援体制の充実
 - ・クラスサポートティーチャーの配置 ※中学1年生対象 9校に配置
 - ・学びいきいきサポートティーチャーの配置 ※中学校30校に配置
- (4) 児童生徒の学級満足度等を把握するアンケート調査等を活用した親和的な学級づくり
 - ・小学校3年生から中学校3年生まで「アンケートQU」を実施 ※年2回 18市町村実施
 - ・「アンケート調査を活用した学級集団づくり研修(基礎編・応用編)」の活用
- (5) 教職員の資質の向上
 - ・不登校対応に係る研修の積極的活用
- (6) 学習支援、社会的自立への支援
 - ・教育支援センター運営事業支援交付金 ※9市町11施設に交付
- (7) 幼稚園等と小学校、小学校と中学校、中学校と高等学校、校種間の連携強化

IV 高等学校長期欠席者のうち不登校生徒の状況（公立の高等学校）

【概要】 不登校の生徒数 218人（全日制 140人 定時制 78人）
 （前年度 208人）※前年度比 10人増（4.8%増）

	全日制 不登校生徒数 (1000人あたり)	定時制 不登校生徒数 (1000人あたり)	公立合計 (1000人あたり)	県(国公立) 不登校児童生徒数 (1000人あたり)	全国(国公立) 不登校児童生徒数 (1000人あたり)
H29年度	140 (9.8)	78 (248.4)	218 (14.9)	280 (14.9)	15.1
H28年度	130 (9.1)	78 (269.9)	208 (14.2)	256 (13.6)	14.7
H27年度	152 (10.6)	48 (160.0)	200 (13.7)	254 (13.6)	14.9
H26年度	147 (10.1)	72 (208.1)	219 (14.7)	321 (17.0)	15.9
H25年度	187 (12.6)	108 (298.3)	295 (19.4)	389 (20.4)	16.7

◎高等学校不登校生徒への今後の対応

- (1) 中高連携による早期の情報共有
- (2) 教育相談体制の充実
 - ・スクールカウンセラー活用事業（平成30年度より県内すべての学校に配置）
 - ・スクールソーシャルワーカー活用事業（宍道高校・浜田高校定時制に配置、他の県立高校へは派遣）
 - ・教育相談員配置事業（宍道高校、浜田高校定時制・通信制、三刀屋高校掛合分校に配置）
 - ・教育相談コーディネーター養成研修
- (3) 生徒の学級満足度等を把握するアンケート調査等を活用した親和的な学級づくり
 - ・「アンケートQU」の実施（高1・高2を対象、年2回）
 - ・「アンケート調査を活用した学級集団づくり研修（基礎編・応用編）」の活用
- (4) 教職員の資質の向上
 - ・生徒指導に係る研修の充実
 - ・学校訪問による指導・助言

V 高等学校中途退学者等の状況（公立高等学校）

219人〔全日制 63人（82人） 定時制 24人（23人） 通信制 132人（212人）〕
 （前年度 317人）※前年度比 98人 減（30.9% 減）

校種別 年度	公立全日制 中途退学者数 (割合%)	公立定時制 中途退学者数 (割合%)	公立通信制 中途退学者数 (割合%)	公立高校合計 中途退学者数 (割合%)	県(国公立) 中途退学者数 (割合%)	全国 (国公立) 割合%
H29	63 (0.4)	24 (7.6)	132 (9.1)	219 (1.4) ※87 (0.6)	300 (1.5)	1.3
H28	82 (0.6)	23 (8.0)	212 (13.3)	317 (2.0) ※105 (0.7)	411 (2.0)	1.4
H27	44 (0.3)	18 (6.0)	19 (1.2)	81 (0.5) ※62 (0.4)	161 (0.8)	1.4
H26	56 (0.4)	30 (8.7)	11 (0.7)	97 (0.6) ※86 (0.6)	239 (1.2)	1.5
H25	89 (0.6)	42 (11.6)	13 (0.8)	144 (0.9) ※131 (0.9)	294 (1.4)	1.7

※は通信制を含まない数値

◎高等学校中途退学予防等への対応

- (1) 中高連携による早期の情報共有
- (2) 教育相談体制の充実
 - ・スクールカウンセラー活用事業（平成30年度より県内すべての学校に配置）
 - ・スクールソーシャルワーカー活用事業（宍道高校・浜田高校定時制に配置、他の県立高校へは派遣）
 - ・教育相談員の配置（宍道高校、浜田高校定時制・通信制、三刀屋高校掛合分校に配置）
 - ・教育相談コーディネーター養成研修
- (3) 生徒の学級満足度等を把握するアンケート調査等と活用した親和的な学級づくり
 - ・「アンケートQU」の活用（高1・高2を対象、年2回）
 - ・「アンケート調査を活用した学級集団づくり研修（基礎編・応用編）」の活用
- (4) 教職員の資質の向上
 - ・生徒指導に係る研修の充実
 - ・学校訪問による指導・助言
- (5) 中途退学者への支援
 - ・連絡調整員活用事業（宍道高校及び浜田高校定時制・通信制を拠点校）